

短距離選手に加齢によるタイムの推移の研究 ～日本記録と世界記録の比較～

東野 誠道 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 金森 雅夫

キーワード：短距離,加齢,タイム

1. 緒言

陸上競技では100mは花形種目でみんなから注目される種目である。現在、日本のトップアスリートと世界のトップアスリートのタイムがなぜ、こんなに差があるのかを調べたい。人間は加齢によって100mのタイムが落ちていくと思うので、それによって日本記録と世界記録のタイムが重なるのか、それとも差は縮まらないのか、それとも記録は平行したままなのかを本研究では男女日本マスターズ記録と男女世界マスターズ記録を比較する事を目的とした。

2. 研究方法

本研究の調査対象は男女日本陸上マスターズと男女世界陸上マスターズの記録を年齢別に分けてグラフに表して日本と世界の100m疾走能力の違いを記録をもとに研究した。それと同時に加齢により足腰の筋力が落ちるかを研究した。

3. 結果と考察

本研究の結果では、グラフから見て分かるように日本マスターズ記録と世界マスターズ記録は加齢によりどんどん近づいていることが分かる。年齢を重ねる事と筋力が落ちることによって、ちょっと離れている。100歳ではどちらも日本人がマスターズ記録を持っていた。加齢により、筋力が落ちていて世界マスターズ陸上も日本マスターズ

陸上のタイム差が見られなくなった。加齢によって日本マスターズ記録と世界マスターズ記録は差が縮まらないのと記録が平行のままだと考えていた。

図1 男子の日本記録と世界記録

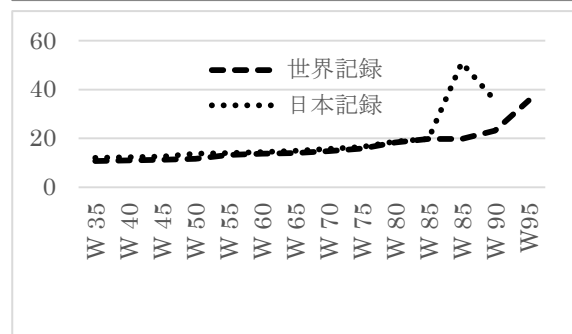
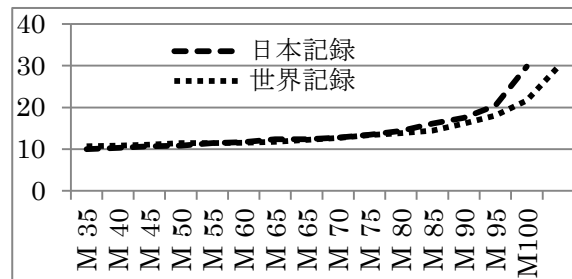


図2 女子の日本記録と世界記録

4. まとめ

加齢により日本マスターズ記録と世界マスターズ記録の比較です。加齢により、段々と録の差が縮まっていることグラフから見て分かる。日本マスターズ記録と世界マスターズ記録は加齢によりタイムが近くなる事が分かった。

引用・参考文献

日本マスターズ陸上競技連盟 2013 記録集
世界マスターズ陸上競技協会 2013 記録集